

芦屋市地域包括支援センター  
活動状況報告書【令和7年度実績】

令和8年8月28日 芦屋市高齢介護課

説明資料

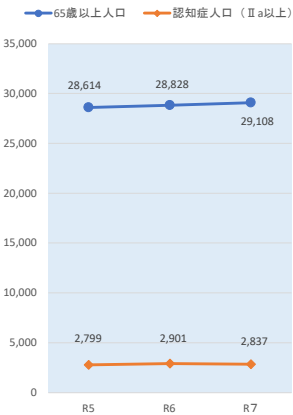
1



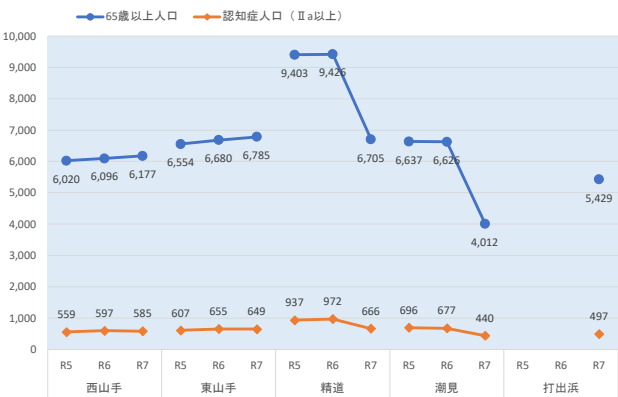
圏域概況（高齢者、認知症人口）

市全体の65歳以上人口は微増。圏域別の数値は、令和6年度までは旧4圏域での高齢者人口、令和7年度より打出浜を含めた5圏域でのそれぞれの高齢者人口を示しているため、精道・潮見の令和7年度の高齢者人口は減少している。  
認知症人口の目安として、介護保険認定調査票より「認知症日常生活自立度がⅡa以上」の方の推移を示している。  
認知症人口は前年と大きな変動はない。

グラフ1-1【市内】 65才以上人口・認知症人口



グラフ1-2【圏域別】 65才以上人口・認知症人口

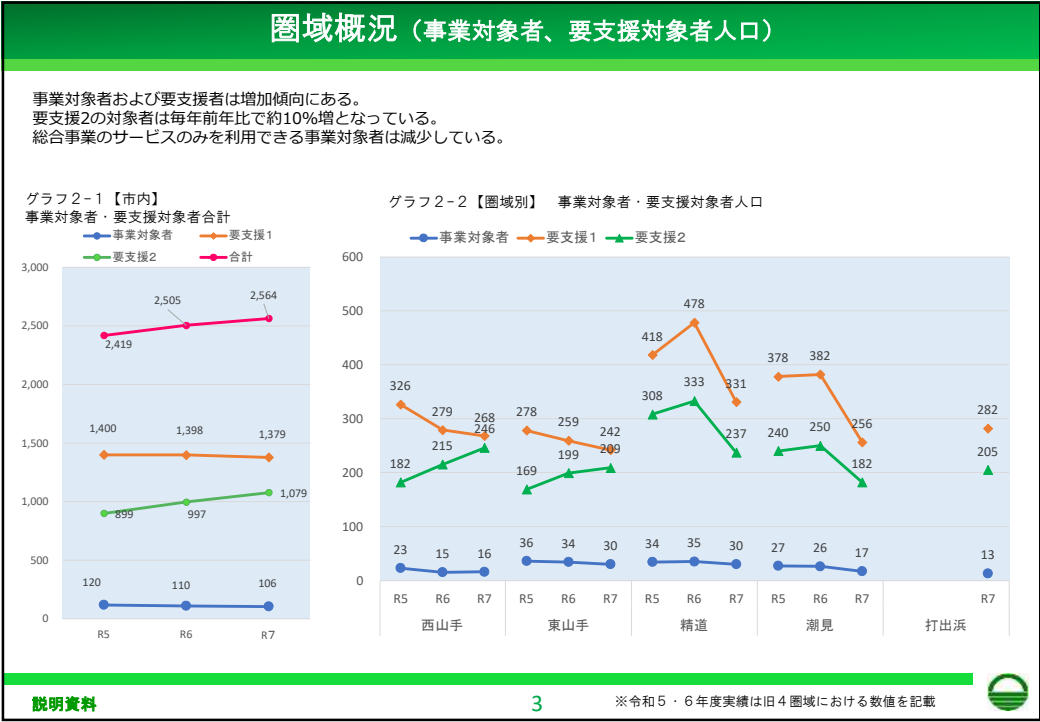


説明資料

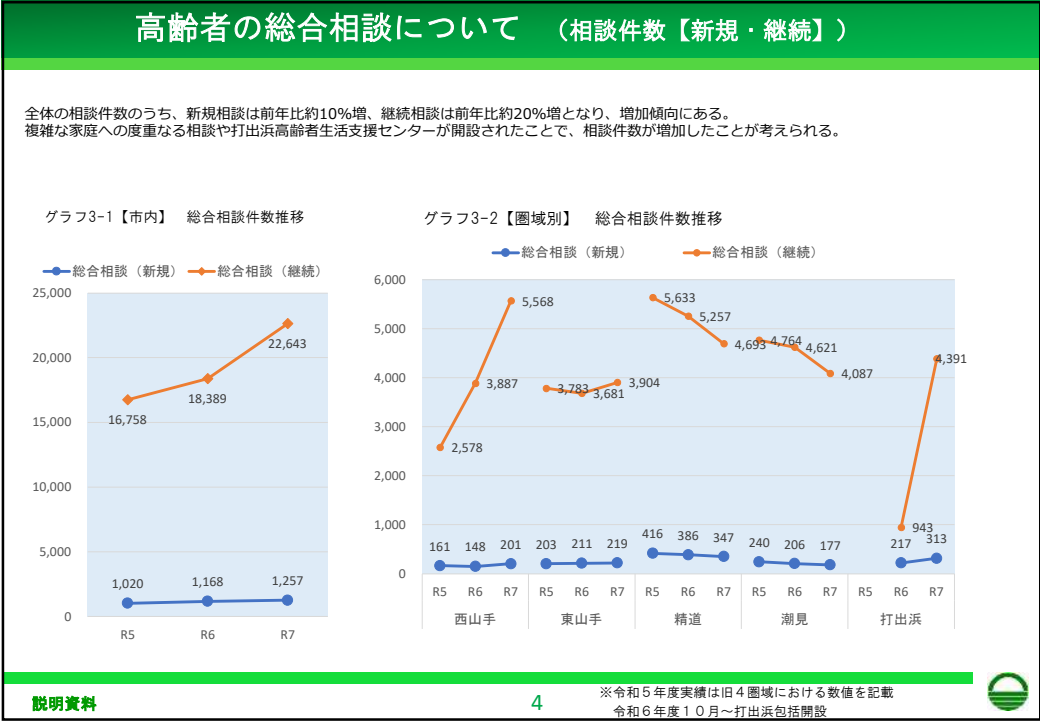
2

※令和5・6年度実績は旧4圏域における数値を記載

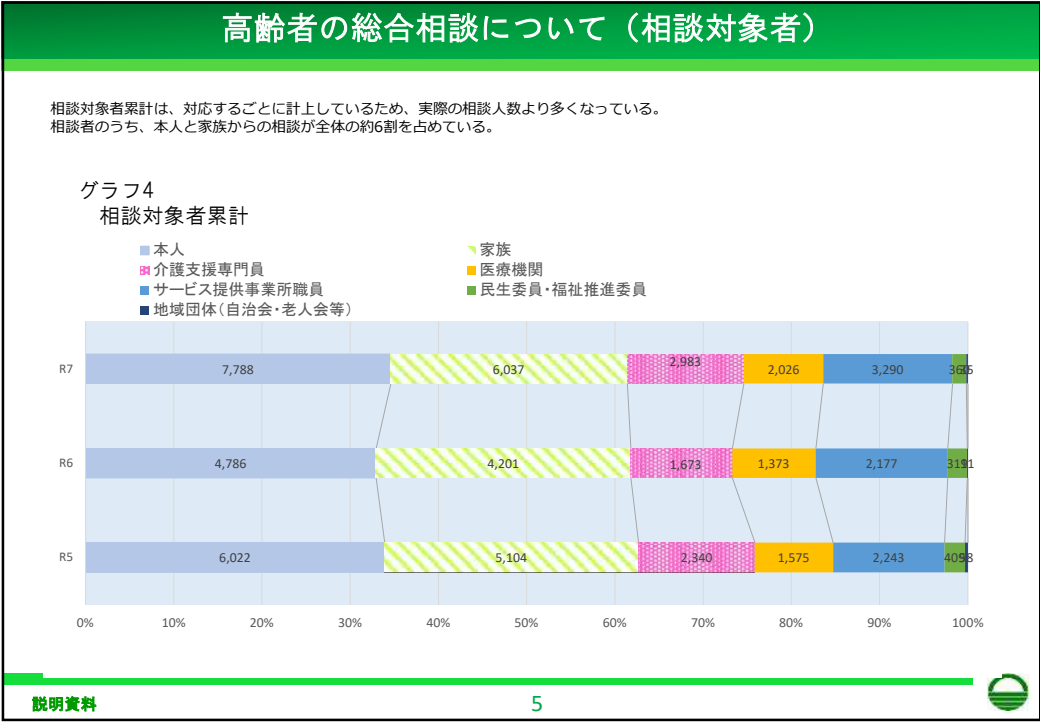




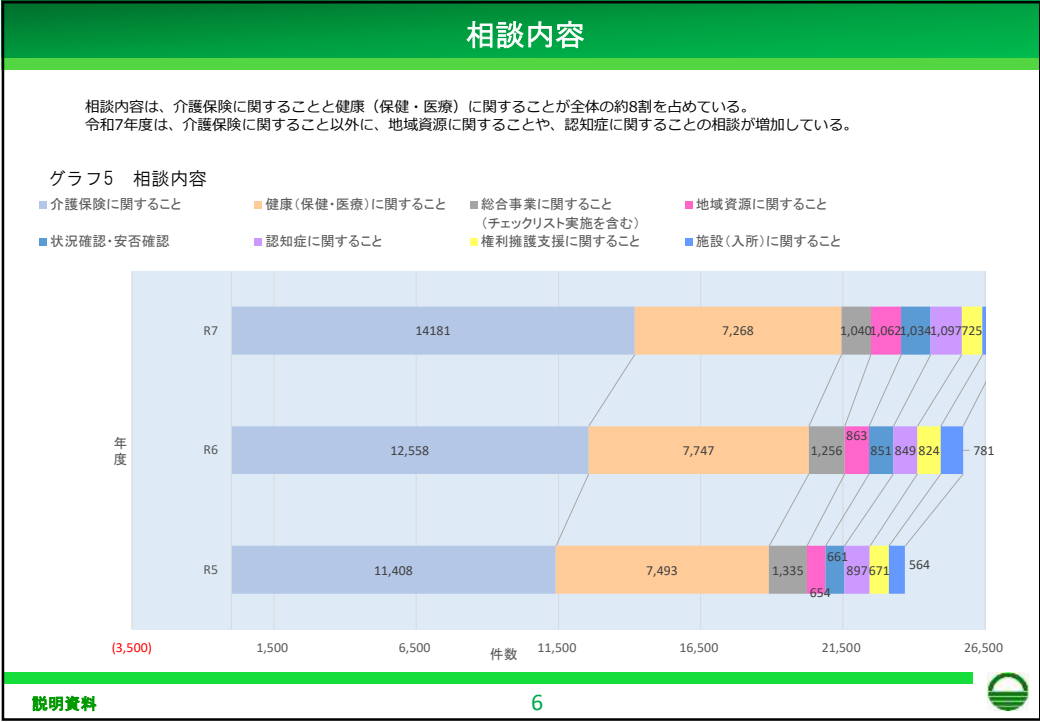
3



4



5

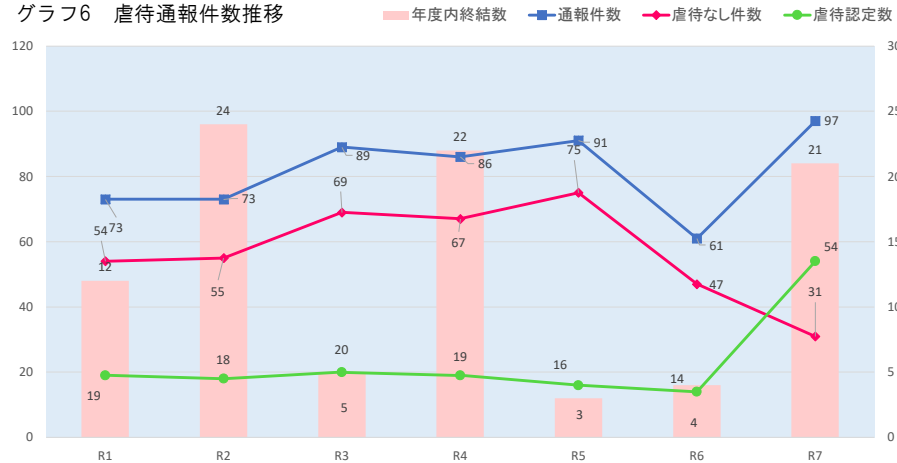


6

## 権利擁護業務（虐待対応件数）

虐待通報件数は令和元年度以降増加傾向にあり、令和6年度は減少、令和7年度は過去最多を更新した。  
また、虐待と認定した数も増加している。

グラフ6 虐待通報件数推移



説明資料

7

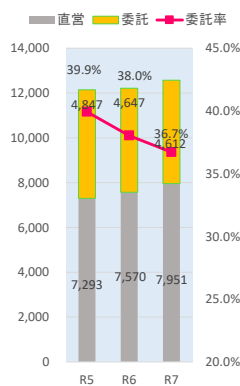


7

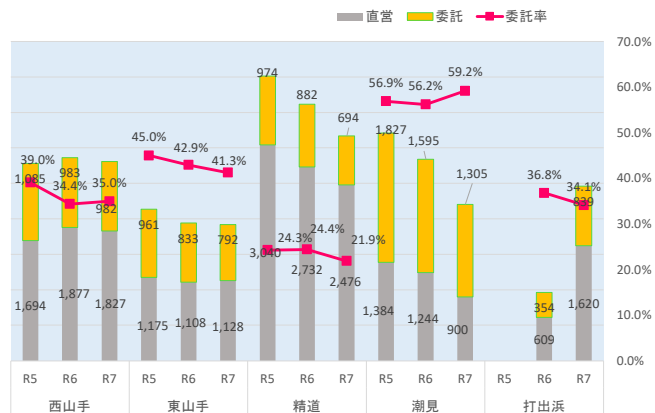
## 介護予防ケアマネジメント（予防プラン作成）

全体としては委託率が微減したものの、約4割が委託である。予防ケアプラン作成件数は微増している。  
自立支援・重度化防止につながるケアプランを作成できるケアマネジャーのスキルが求められており、引き続き地域ケア会議等を通じてスキル向上に努める必要がある。

グラフ7-1【市内】 予防プラン件数



グラフ7-2【圏域別】 予防プラン件数



説明資料

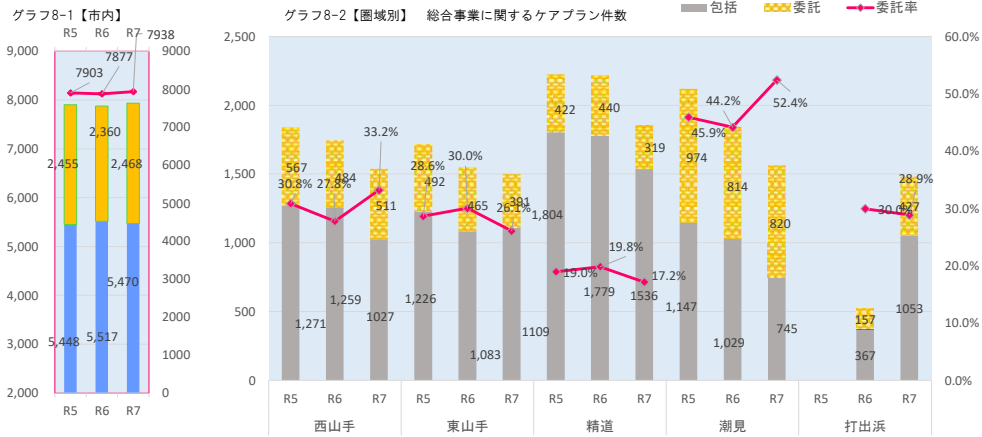
8



8

介護予防ケアマネジメント（総合事業に関するケアプラン作成）

総合事業に関するケアプラン作成件数は、全体として委託率がやや増加し、直営実施が減少している。  
西山手・潮見では委託率がやや増加している一方、その他では委託率が減少している。  
全体のケアプラン作成件数はやや増加した。



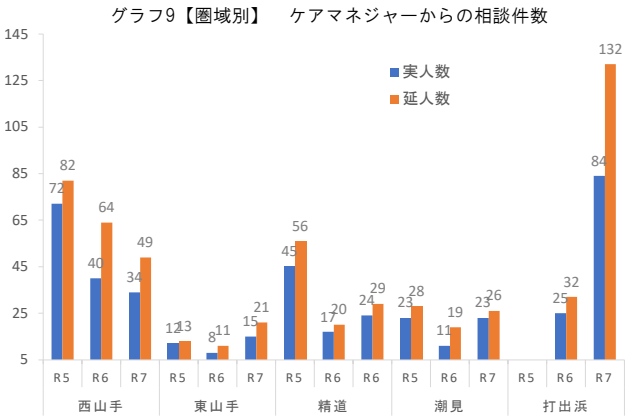
説明資料

9



介護予防ケアマネジメント（ケアマネジャーからの相談件数）

令和6年度は前年比で実人数・延べ人数ともに減少したが、令和4年度比では大きな変化はない。  
現場の所見として、ケアマネジャーからの相談のハードルは以前より低くなっている。  
今後も、ケアマネジャーが相談しやすい協力機関としての役割を果たせるよう、周知・啓発や職員の知識研鑽に努めたい。



説明資料

10



## まとめ

### 【総合相談関係】

- 高齢者人口の増加とともに、要支援者等の数や相談件数も大幅に増加している。
- 令和6年度に打出浜高齢者生活支援センターの設立により圏域を分割したことに伴い、精道・潮見圏域の相談件数は減少しているが、打出浜圏域での相談件数を加味すると同一圏域の相談は増加している。
- 相談者は本人・家族からの相談が約6割を占める。

### 【総合事業・予防ケアマネジメント】

- 自立支援型地域ケア会議を通じ、サービス利用の優先に偏らず、一般介護予防や地域での役割を重視した支援を行うよう努めている。
- 介護予防ケアマネジメント全体ではケアプラン作成件数が増加している。

### 【虐待関係】

- 虐待通報件数および虐待と認定したケースは増加しており、支援負担の増加がみられる。
- 年度内に通報があがったケースにおける年度内終結数も一定数あり、迅速な対応が行えるよう努めている。

